教育セミナー①

◆はじめての超音波エコー～基礎から機種選びまで～

ルーツ株式会社　王子田直樹

【key words】運動器超音波、超音波画像観察装置、軟部組織損傷、外傷評価、柔道整復

【Abstract】

近年、柔道整復師の臨床現場において、超音波画像観察装置（エコー）の重要性が高まっています。柔道整復師養成課程にも「柔道整復術適応の臨床的判定（医用画像の理解を含む）」が追加され、画像を理解し、問診・視診・触診・徒手検査などと組み合わせて総合的に判断する能力がより求められるようになりました。本講演では、「エコーを導入したいが、何を基準に選べばよいかわからない」「導入後、本当に使いこなせるのか」といった疑問を解消するため、エコーの基本原理から骨・筋・腱・靱帯などの見え方、長軸・短軸走査、外傷を中心とした臨床活用まで、導入前に知っておきたいポイントをわかりやすく解説します。エコーの強みは、身体の状態を「客観化・可視化」できること。患者様への納得感のある説明や施術計画、安全性･信頼性の向上だけでなく、院の差別化や自費施術、スタッフ教育にも活用できます。今回は、機動性に優れた人気のポケットエコー「SONON500L」と、高画質・高機能・操作性を兼ね備えたポータブルエコー「HM70 EVO（EVOL）」を実機紹介。それぞれの特徴や選び方も含め、これからエコー導入を検討される先生に役立つ内容をお届けします。HM70 EVO は高画質技術や直感的な操作性を備え、多様な検査ニーズに対応するポータブル型超音波画像診断装置です。